

# 漁況予報 い わ し

## 第180号

【2013年11～12月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は9月は960kgで、前年(6トン)及び平年<sup>※1</sup>(76トン)を大きく下回りました。10月は140kg(速報値)で、不漁の前年(195kg)同等でしたが、平年<sup>※1</sup>(32トン)を大きく下回りました。

まき網は、東京湾側では漁獲はありませんでしたが、相模湾側では1ヶ統が10月に約100トンの水揚げ(ウルメイワシ等含む)がありました。

魚体は、2ヶ月とも漁獲データから2013年生まれの0歳魚主体で僅かに大羽混じりと推定されます。

今後も引き続き0歳魚(小羽～中羽サイズ)が漁獲主体となると考えられますが、12月に黒潮がB型基調になると予測されていることから、一時的に大羽マイワシの南下群の来遊を期待したいです。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総漁獲量は1トンで、不漁の前年(0トン)を上回りましたが平年(6トン)は下回りました。つづく10月の漁獲量(速報値)も600kgで不漁の前年(0トン)を上回りましたが平年(2トン)を下回りました。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は漁獲はありませんでしたが、佐島地区のまき網1ヶ統は2ヶ月計約100トン水揚げしました。魚体は、10-13cmの小～大型成魚が主体でした。

このように定置網の少し沖合海域までは群れが回遊しているようです。

#### 【シラス】

8月下旬から相模湾全域で好漁となったシラス漁ですが、9月に入っても好漁傾向を維持し、平塚地区で平年並み、湾東～中央部で同3～6割増の漁獲量となりました。結局、湾全体での漁獲量(標本船データより推定)は不漁だった前年を大きく上回り、平年の2割増となりました(前年比3.7倍、平年比1.2倍)。

つづく10月は相次ぐ台風通過で休漁する日が多かったにもかかわらず、中旬までは引き続き好漁傾向を維持しましたが、下旬に台風27,28号が沖を通過した後は湾東～中央部で急速に漁獲水準が落ちました(前年比0.7倍、平年比0.8倍)。

# = 予 報 =

過去5年の11・12月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

## 【マイワシ】

今漁期は、2013年生まれのヒラゴ～小羽マイワシ（12～15cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、春季のマシラスの漁獲状況から、前年並みの約10トンと予測されますが、概況でも書きましたように大羽マイワシの南下群が来遊した場合は予測を大きく上回るでしょう。

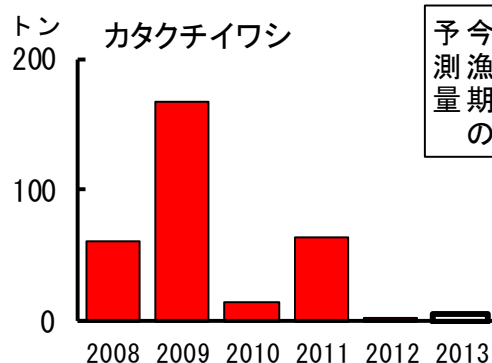


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【カタクチイワシ】

今漁期は、2013年生まれの小型成魚（9～12cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、定置網ではここ数年の漁模様から殆ど漁獲は期待できないと予測されますが、前漁期同様まき網の漁獲努力が向けば予測を大きく上回るでしょう。

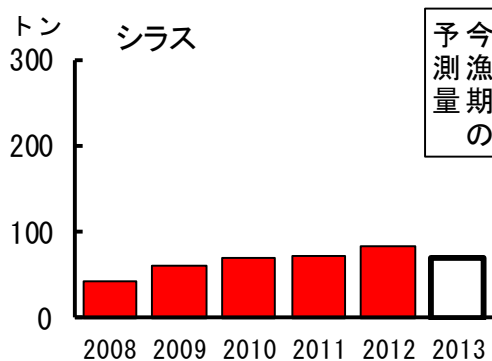


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【シラス】

今漁期は、カタクチシラス主体に11月はウルメシラスが、12月にはマシラスが僅かに混獲されるでしょう。

今漁期は、グラフからもわかるように100トン未満で横ばい状態がここ数年継続しています。今漁期は70トンと予測されます。



神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2312